

The Japanese Society for the Study on Hoikusha Education

日本保育者養成教育学会

第8回研究大会
プログラム

大会テーマ

保育者養成教育の近未来

2024年3月9日(土) (WEB開催)

主催校



東京家政大学
TOKYO KASEI UNIVERSITY

日本保育者養成教育学会

The Japanese Society for the Study on Hoikusha Education

第8回研究大会 プログラム

大会テーマ：「保育者養成教育の近未来」

日時：2024年3月9日（土）

会場：WEB開催

目次

日本保育者養成教育学会 第8回研究大会の開催にあたって…………… 1

大会参加者の方へ

大会スケジュール…………… 2

大会に参加される皆様へ…………… 3

各セッションの紹介

大会企画シンポジウム…………… 6

口頭発表…………… 8

ポスター発表…………… 10

諸規程

「大会における座長および分科会運営に関する規程」

日本保育者養成教育学会 第8回研究大会の開催にあたって

大会テーマ：「保育者養成教育の近未来」

日本保育者養成教育学会第8回研究大会は、コロナ禍以来、引き継がれて参りました“WEB（オンライン）”方式ならではの利点を活かし、開催させていただくことといたしました。開催に際し、参加者の皆様や広告掲載企業の皆様より多大なご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

さて、第8回研究大会におきましては、大会テーマを「保育者養成教育の近未来」と掲げました。コロナ禍ではエッセンシャルワーカーの一種とも位置づけられていた保育者ですが、現場では相変わらず手薄な体制のもとで煩雑な業務に日々追われているのが実情で、社会で必要不可欠な労働者でもある（はずの）保育者が不足しているという現実課題は解消されてはいません。保育者不足を解消するために、保育職の魅力伝える取り組みが各地で行われ、保育職の仕事の魅力はある程度は伝えられ、キャリアパスや処遇改善制度の創設等により報酬や労務環境が改善されてきています。しかしその現実がさほど認知されていないためなのか、世間一般にはいまだ保育職の待遇面や労働条件等については、『労多くして功少なし』という印象が根強いようです。また、昨今の保育現場における、あってはならない事件・事故等が繰り返し報道されたことも影響し、保育職については魅力どころか、一層ネガティブなイメージが社会に広まっているのではないのでしょうか。

いずれにせよ、近年の保育者養成校志願者の減少は著しく、一部では保育者養成教育の実施・継続さえ困難になり始めてもいます。また保育者養成校への入学までは、それなりに保育職に夢や希望を抱いていても、入学後に学びを進めるにつれて、次第に保育職の資格を取ることに専念し、保育職に就くことを選ばなくなる学生は現存しますし、中には一般企業への就職活動を優先するために実習も断念して、資格を取ることにすら放棄してしまう学生も実在します。加えて、就職後の早期離職、資格保有者の潜在化など、全体的な保育者離れの傾向は続いています。こうした厳しい状況の中で保育者養成教育は近未来をいったいどのように見通すべきなのでしょう。

本大会のシンポジウムでは、眼下の現実を直視しつつ、保育者養成教育関連の行政・学界・学会を代表する方々それぞれの視座からご発題いただき、保育者養成教育の諸種の難題解決を実現可能にする方略はいかなるものかということについて、真摯かつ闊達な論議となることを願っております。

また、口頭発表・ポスター発表等の各プログラムでは、保育の近未来を担う保育者養成教育のあり方について自由かつ闊達な討議が行われ、充実した研究発表の場となるよう、事務局及び実行委員一同で運営の任にあたって参ります。

たくさんの皆様のご参会を心からお待ちいたします。

日本保育者養成教育学会 第8回研究大会 大会長 宮島 祐（東京家政大学）

大会参加者の方へ

【大会スケジュール】

時刻	オンラインライブ(Zoom)			オンデマンド 3/9-3/22
9:30	9:30~9:50 開 会 式			ポスター発表
10:00	10:00~12:00 シ ン ポ ジ ウ ム			
12:00				
13:00	第1セッション (13:00~14:45)			
	口 頭 発 表 A ・ 1	口 頭 発 表 A ・ 2	口 頭 発 表 A B ・ 3 1	
14:00				
	(OA11-OA15)	(OA21-OA24)	(OA31-OA34) (OB11)	
14:45				
15:00	第2セッション (15:00~16:45)			
	口 頭 発 表 C D ・ 1 2	口 頭 発 表 D D ・ 1 2		
16:00				
	(OC11-OC13) (OD22)	(OD11-OD14) (OD21)		
16:45				

○研究発表につきましては、発表の成立条件および注意事項をよくご参照ください。

大会に参加される皆様へ

1. 参加について

本大会は、オンラインで開催するため、予約参加のみとなっております。Zoom の URL につきましては、約一週間前に大会運営事務局よりメールにてお知らせいたします。開会式およびシンポジウム参加方法、口頭発表参加方法のマニュアルも同時に配信します。

なお、今大会では、当日参加申込を受けつけておりませんので、ご了承ください。

2. 研究大会について

1) シンポジウム・口頭発表等の録音・録画・撮影について

発表およびシンポジウム等の録音・録画・撮影につきましては、著作権および肖像権の保護のため、ご遠慮ください。

2) 開催方法について

研究大会はオンラインで開催されます。

●ポスター発表

2024年3月9日（土）0:00～3月22日（金）23:59の期間、大会HPに掲載します。発表内容に対する質問等は hoikusyayousei08@mwt.co.jp にて受付し、発表者から回答をいただきます。

●開会式及びシンポジウム

Zoom ウェビナーによるライブ配信

質問等は、当日チャットで受け付けます。

●口頭発表

Zoom ミーティングによる双方向型

動画による発表、ライブによる質疑応答、討論を行います。

3) Zoom 推奨環境について

【サポートされているオペレーティングシステム】

- ・ macOS X と macOS X (10.10) 以降
- ・ Windows 11
- ・ Windows 10

注: Windows 10 で実行されているデバイスは、Windows 10 Home、Pro、Enterprise のいずれかで実行されている必要があります。S モードはサポートされていません。

【サポートされているタブレットとモバイルデバイス】

- Win 8.1 以降の Surface PRO 2 以降
- Windows 10 を搭載しているタブレット端末は、Windows 10 Home、Pro または Enterprise を搭載している必要があります。S モードはサポートされていません。
- タブレット端末 コンピュータ は、Zoom デスクトップ クライアントのみに対応しています。

3. 口頭発表について

口頭発表は以下の日程で開催されます。プログラムをご確認の上、分科会にご参加ください。

2024年3月9日（土）

第1セッション（13:00～14:45）

第2セッション（15:00～16:45）

1) 口頭発表の成立条件

以下の研究発表成立条件を満たすことによって、口頭発表として認められます。

【研究発表の成立条件】

- 1 口頭発表は、「発表動画を用いての口頭発表」「質疑応答及び討論への参加」「要旨集への要旨の掲載」の3条件を満たすことで正式発表と認められます。発表者は分科会終了前に退席することはできません。
- 2 ポスター発表は、「ポスターでの発表」「要旨集への要旨の掲載」の条件を満たすことで正式発表と認められます。
- 3 筆頭発表者がやむをえない理由で発表ができなくなり連名発表者がいる場合、事前に大会実行委員会の承認を得ることで、連名発表者（他の発表で筆頭発表者となっていない者）が筆頭発表者となることができます（筆頭発表者の交代）。事前の届け出と手続きが完了しなければ、交代は無効です。

*以上に反することが確認された発表は、「発表取り消し」となる場合があります。

2) 口頭発表（分科会）進行方法について

- ①発表時間は、1件につき発表動画を用いての発表が12分、質疑応答3分の計15分となります。なお、すべての発表終了後、約30分の全体討論の時間があります。
- ②口頭発表では、事前にZoomのインストールを行ってください（すでにインストールがお済の方につきましても、必ず最新版にアップデートを行ってください）。
- ③大会開催の約1週間前に、大会運営事務局よりZoomのURLをメールにてお送りいたします。同時に、入室方法についてのマニュアルをお送りいたします。

④口頭発表者につきましては、3月9日（土）の午前に接続テストができるようにします。接続に不安がある方はどうぞご活用ください。

⑤インターネットは有線接続を推奨しております。不安定な接続環境ですと、画質の低下や、映像や音声途切れる等の影響を及ぼすことがあります。

⑥口頭発表では、座長の指示のもと、発表動画を発表順に従ってスタッフが流します。各発表動画の後、3分間は質疑応答の時間となります。各セッションの口頭発表がすべて終了した後、30分間は全体討論の時間となります。なお、進行については座長の指示に従ってください。

⑦筆頭発表者が欠席した場合、または分科会終了まで在席していることが確認できなかった場合は、原則的に「発表取り消し」となります。ただし、連名発表者がいる場合は、事前に大会実行委員会の承認を得ることで、連名発表者（他の発表で筆頭発表者となっていない者）が筆頭発表者として変更することができます。筆頭発表者の欠席や変更・連名発表者の欠席等につきましては、発表開始 30 分前までに大会運営事務局（hoikusyayousei08@mwt.co.jp）へお申し出下さい。

各セッションの紹介

大会企画シンポジウム

テーマ：「保育者養成教育の近未来」

☆シンポジウム

コーディネーター：保坂 遊（東京家政大学子ども支援学部子ども支援学科 学科長・教授）

シンポジスト：高辻 千恵（こども家庭庁 成育局保育政策課 成育基盤企画課 教育・保育専門官）

北野 幸子（神戸大学大学院人間発達環境学研究科人間発達専攻 教授）

石川 昭義（仁愛大学人間生活学部子ども教育学科 教授、日本保育者養成教育学会会長）

企画：和田 明人（第8回研究大会 実行委員）

* 敬称略

<企画趣旨>

コロナ禍ではエッセンシャルワーカーの一種とも位置づけられていた保育者であるが、現場では相変わらず手薄な体制のもとで煩雑な業務に日々追われているのが実情で、社会で必要不可欠な労働者でもある（はずの）保育者が不足しているという現実課題は解消されてはいない。

保育者不足を解消するために、保育職の魅力を伝える取り組みが各地で行われ、保育職の仕事そのものの魅力は発信されてきている。また、キャリアパスや処遇改善制度の創設等により、報酬や労務環境は以前と比べて改善されてもきている。しかし、そうした現実がさほど認知されていないためなのか、世間一般にはいまだ保育職の待遇面や労働条件等については、『労多くして功少なし』という印象が根強いようである。また、昨今の保育現場における、あってはならない事件・事故等が繰り返し報道されたことも影響し、保育職については魅力どころか、一層ネガティブなイメージが社会に広まっているのではなかろうか。

いずれにせよ、近年の保育者養成校志願者の減少は著しく、一部では保育者養成教育の実施・継続さえ困難になり始めている。

また、保育者養成校への入学までは、それなりに保育職に夢や希望を抱いていても、入学後に学びを進めるにつれて、次第に保育職の資格を取ることに専念し、保育職に就くことを選ばなくなる学生は現存するし、中には一般企業への就職活動を優先するために実習も断念して、資格を取ることをすら放棄してしまう学生も実在する。加えて、就職後の早期離職、資格保有者の潜在化など、全体的な保育者離れの傾向は続いている。こうした厳しい状況の中で保育者養成教育は近未来をいったいどのように見通すべきなのであろうか。

保育者養成教育の諸種の難題解決を実現可能にする方略はいかなるものか。

本シンポジウムでは、眼下の現実を直視しつつ、まずは保育行政の立場からの見解を明示いただき、続いて保育者養成教育や現職研修などに関する国際動向や体制整備状況等の研究知見をも提供いただきながら、本学会の会長より現状認識と展望等を発題いただく。

保育者養成教育関連の行政・学界・学会を代表する方々それぞれの視座から提言いただき、真摯かつ闊達な論議とされたい。

○保育現場の人材確保・育成に係る取組の現状と課題—保育行政の立場から

高辻 千恵（こども家庭庁 成育局保育政策課 成育基盤企画課 教育・保育専門官）

少子高齢化に伴う労働人口の減少により、人材不足は保育に限らず多くの分野で喫緊の課題となっている。国では保育士・保育教諭の確保に向け、累次の処遇改善のほか、新規の資格取得と保育現場への就職の促進、現任者の就業継続支援、離職者の再就職支援と、様々な層を対象に総合的な対策を講じているが、それだけではなく、保育という仕事・保育者という職業の価値や魅力に対する理解を広め、社会全体で共有していくことも重要と考える。地域において保育の現場に期待される機能がより拡大するなかでの保育者の役割や専門性と養成・資質向上・キャリア形成のあり方、それらを支える仕組みの見直しと構築、自治体間の格差や各地域の実情に即した対策、運営主体や規模が多様であることを踏まえた現場のマネジメントの向上等々、課題は多岐にわたるが、保育の質と量の両面で要とも言うべき保育者の確保・育成の今後について、参加者の皆様とともに考えたい。

○保育専門職への社会的認知の浸透をいかにすすめることができるのか

北野 幸子（神戸大学大学院人間発達環境学研究科人間発達専攻 教授）

保育人材の確保、定着がままならない現状の大きな背景は、保育専門職に関する社会的理解と評価の低さがあると考えられる。実際、保育従事者国比較調査（OECD, 2019）では、どの国の保育者も自分の仕事への満足度が高いが、保育者が感じる社会や、保護者、こどもからの評価は、他国とくらべて、日本がいずれも著しく低く、最下位である。

保育の仕事は乳幼児教育を中心に、保護者支援や子ども家庭福祉にまで及ぶ。国際労働機関（ILO）国際標準職業分類（ISCO）の現行版 2008 年であれば、発達を踏まえて養護と教育を一体的に行う保育士は「2. 専門職」にあたるが、その認知が十分に浸透しておらず「5. サービス・販売従事者」の小項目「531. 保育従事者、教師補助員」や「532. 介護福祉従事者」とみなされているのではと危惧される。

一方、世界に目を向けると、子どもの権利条約では、低年齢児の権利保障が課題としてあげられ、SDGs の目標 4 とかわりターゲット 4.2 では、誕生からの質の高い育ちの保障が指摘されており、専門職養成の高度化がすすみ、フランス、ポーランド、ポルトガルで修士、フィンランドが修士と学士、ベルギー、チリ、デンマーク、エストニア、ドイツ、メキシコ、NZ、ノルウェー、スロヴェニア、スイス等で学士となっている（OECD, 2021）。

本シンポジウムでは、養成の高度化、配置基準、処遇等にかかわる改革動向を紹介し、今後私たちが保育専門職への社会的認知の浸透をいかにすすめることができるのかを共に考えたい。

○保育者養成教育を議論する脈絡—政策課題と教育課題との狭間で

石川昭義（仁愛大学人間生活学部子ども教育学科 教授、日本保育者養成教育学会長）

筆者と福井県との共同で県内の自治体を対象に実施した調査によれば、7 年間（2015 年度と 2022 年度）で、保育の施設数も入所児童数も減少しているのに対し、必要な保育者の数は、むしろ増加しているという変容ぶりだった。そこで浮き彫りになったことは、園の定員割れから生じる「経営困難」と、にもかかわらず「保育者が不足している」という一見矛盾するかなのような事態が同時進行している現実であった。

これからの保育者養成教育は、一方ではこうした「現実」とともに政策課題としての需給関係に巻き込まれ、もう一方で、「こども基本法」の施行、医療的ケア児や外国にルーツを持つ子どもへの対応といった現代的な課題への直面を余儀なくされる。そこに持ってきて、保育職不人気の影響なのか、入学者は減少傾向にあり、学生の資質能力は多様化してきているように見える。私たちは、職業準備教育と高等教育の両義である保育者養成教育の量と質の課題にどのように立ち向かうのか。会員の皆様とともに考えたい。

口頭発表 A-1. 保育者の専門性、資質・能力、保育者養成における今日的課題など

13:00~14:45

座長: 目良秋子・請川滋大

時刻	発表ID	発表内容	発表者	所属機関	発表者
13:00	OA11	持田栄一の仏教保育論における保育者像		大阪公立大学	吉田 直哉
13:15	OA12	保育現場における心理的安全性の現状に関する研究 - 保育者養成教育の検討 -		四條畷学園短期大学 大阪健康福祉短期大学	○金川 朋子 舟越 美幸
13:30	OA13	保育者養成課程における ESD の試み II - SDGs と造形活動を結び付けた実践を通して -		仙台白百合女子大学	千 凡晋
13:45	OA14	韓国の短期高等教育機関における保育者養成の課題 - 保育者養成校教員インタビューより -		洗足こども短期大学	長島 万里子
14:00	OA15	「地域型保育事業における 0 歳児保育の現状と課題」 - アンケート及びインタビューを通して -		白梅学園大学子ども学研究所 白梅学園大学 白梅学園短期大学 認証保育所ウッドキッズ 株式会社ココロラボ	○松永 静子 村上 博文 源 証香 溝口 義朗 澤井 優嘉

討論14:15~14:45

口頭発表 A-2. 保育者の専門性、資質・能力、保育者養成における今日的課題など

13:00~14:30

座長: 大橋喜美子・吉永早苗

時刻	発表ID	発表内容	発表者	所属機関	発表者
13:00	OA21	保育者養成は学内実習に振り替えることで何を失ったか?		中国短期大学 中国短期大学	○福澤 惇也 清水 憲志
13:15	OA22	保育者養成校における「健康・スポーツ分野」の教育 内容に関する一考察		株式会社ギャラント	笹本 良行
13:30	OA23	「ふれ合い体験」の実践報告 V ~ 2023 年度アフターコロナでの受け入れ実施について ~		エンゼル保育園 / 日本保育協会神奈川県支部 ひよこ第3保育園 / 日本保育協会神奈川県支部 認定こども園モモ / 日本保育協会神奈川県支部 松が丘保育園 / 日本保育協会神奈川県支部 ベル・フラワー保育園 / 日本保育協会神奈川県支部	○奥田 昌喜 清水 淳一郎 神尾 美香子 渡邊 高幸 小島 栄希
13:45	OA24	「ふれ合い体験」の実践報告 VI ~ コロナ禍のふれ合い体験の再考 ~		ベル・フラワー保育園 / 日本保育協会神奈川県支部 認定こども園モモ / 日本保育協会神奈川県支部 ひよこ第3保育園 / 日本保育協会神奈川県支部 松が丘保育園 / 日本保育協会神奈川県支部 エンゼル保育園 / 日本保育協会神奈川県支部	○小島 栄希 神尾 美香子 清水 淳一郎 渡邊 高幸 奥田 昌喜

討論14:00~14:30

口頭発表 A-3. 保育者の専門性、資質・能力、保育者養成における今日的課題など
B-1. 保育実践研究、保育実践現場との共同研究など

13:00~14:45

座長: 石井章仁・門田理世

時刻	発表ID	発表内容	発表者	所属機関	発表者
13:00	OA31	台湾における幼児園と保育者養成校の視察報告		神戸海星女子学院大学 共立女子大学 神戸元町こども専門学校 神戸常盤大学 京都光華女子大学 頌栄短期大学 神戸常盤大学 富山短期大学 仙台白百合女子大学 共立女子大学	○渡邊 恵梨佳 井口 武俊 井出 沙里 大城 亜水 越智 紀子 川島 直子 橋本 好市 宮田 徹 三浦 主博 小原 敏郎
13:15	OA32	保育マップ型記録のプロトタイプとしての保育経過記録		郡山女子大学短期大学部 大阪公立大学	○安部 高太郎 吉田 直哉
13:30	OA33	「遊び保育」実践において複数の幼児への個別援助はいかにして可能か - 幼児一人ひとりに対する援助を行うための実践知 -		東京都市大学	岩田 遵子
13:45	OA34	子どもと「いま-ここ」をみるアトリエリスタの存在の視点		つくば国際短期大学	板橋 華子
14:00	OB11	保育者養成教育における「運動遊び」の教授内容に関する一考察(2) - 保育者をめざす学生の「運動遊び」に関する意識調査 -		大阪大谷大学 四條畷学園短期大学	○中村 泰介 金川 朋子

討論14:15~14:45

口頭発表 C-1. 保育実習・教育実習、実習指導、対人援助職のキャリアデザインなど
D-2. 授業実践研究など

15:00~16:30
座長: 高橋貴志・石川昭義

時刻	発表ID			
15:00	OC11	AIを活用した保育所実習における評価の改善 -テキストマイニングによる分析-	東京福祉大学	後藤 泰博
15:15	OC12	保育実習日誌における ICT 活用の教育的効果と課題 -保育実習学生へのアンケート調査を中心に-	安田女子大学 宇部フロンティア大学短期大学部 広島文教大学 広島文化学園大学 福山平成大学	○西川 ひろ子 伊藤 一統 上村 加奈 合原 明子 中原 大介
15:30	OC13	保育実習指導案におけるあそびの計画と実践の差異	帝京科学大学 帝京科学大学 帝京科学大学	○松山 寛 田口 直子 小林 咲里亜
15:45	OD22	事例を活用した「特別支援教育・保育概論」でのアクティブラーニングの実践 ~ロールプレイからの学び~	大阪成蹊短期大学 武蔵野大学 慶應義塾大学	○園田 和江 田中 笑子 富崎 悦子

討論16:00~16:30

口頭発表 D-1. 授業実践研究など
D-2. 授業実践研究など

15:00~16:45
座長: 小泉裕子・三浦主博

時刻	発表ID			
15:00	OD11	子どもを対象とした障害理解を促す教材作成の試み -教材作成を通じた学生の学びの観点から-	豊橋創造大学短期大学部	熊谷 享子
15:15	OD12	「こどもと環境」における保育活動の思考力を高める授業開発	北翔大学短期大学部	菊地 達夫
15:30	OD13	高等学校保育コースにおける栽培活動の試み -「こどもと環境研究所~命を育てる~」を事例として-	東京経営短期大学	井村 礼恵
15:45	OD14	親子参加型のフェスタにおける実践からの学び	常磐会学園大学	白川 晴美
16:00	OD21	保育者養成におけるブレンディドラーニングを用いた保護者との関係構築力の育成を目指した授業実践について(3)	共立女子大学 田園調布学園大学 仙台白百合女子大学	○小原 敏郎 恒川 丹 三浦 主博

討論16:15~16:45

ポスター発表 A. 保育者の専門性、資質・能力、保育者養成における今日的課題など

発表ID

PA101	子どもの表現を引き出すパペットの素材と操作に関する一考察	尚綱学院大学	東 義也
PA102	保育者養成における「不適切な保育」を題材とする教材化へ向けて～保育者の言葉かけとその背景に着目して～	郡山女子大学短期大学部	佐々木 郁子
PA103	担当制保育の理念と現実ギャップに関する研究 -保育現場アンケート調査を通して-	奈良学園大学 奈良学園大学	○間井谷 容代 岡村 季光
PA104	担当制保育に対する意識調査から	皇學館大学 奈良学園大学	○土谷 長子 間井谷 容代
PA105	学生の子どもに関わる経験知から見られる変容	姫路大学 神戸教育短期大学	○藤重 育子 川戸 良子
PA106	保育実習園で行っている運動遊びの実態と運動遊び指導の課題 -実習生への調査から-	大阪成蹊短期大学	範 衍麗
PA107	子育て支援における保育士の行動規範の検討(3) -「適切な行為」と「不適切な行為」の視点から-	十文字学園女子大学	亀崎 美沙子
PA108	保育者志望学生のためのフィードバック型保育ドキュメンテーション教材の開発 -熟達保育者の言葉かけの知識・スキルに着目して-	創価大学 鎌倉女子大学 駿河台大学 創価大学	○戸田 大樹 榊原 久子 館 秀典 舟生 日出男
PA109	特別な配慮を必要とする子どもの幼保小連携について ～個別の指導計画をもとに考える～	九州産業大学	阪木 啓二
PA110	保育学生が保育の方法を学ぶ実際の状況(1) -シラバスにみる教育の方法及び技術に関する科目の内容-	国際学院埼玉短期大学 名古屋女子大学 元聖セシリア女子短期大学	○桐原 由美 榊原 剛 仲 明子
PA111	言語表現と造形表現を融合した活動事例Ⅱ -オノマトペと造形要素を踏まえた絵本制作ワークショップ-	中村学園大学 中村学園大学 中村学園大学	○倉原 弘子 野中 千都 渡邊 有美
PA112	幼児の姿から育ち・学びを考察できる保育者を育成するには -学生の学びの現状を調査-	中村学園大学 中村学園大学	○新井 しのぶ 野中 千都
PA113	保育環境の「音」に対する知識・意識・共通認識構築の必要性 -保育者と保育学生を対象としたリーフレット作成の取り組み-	中村学園大学大学院	柿本 愛子
PA114	戦後復興期の広島県における保育者養成に関する概観	福山市立大学 倉敷市立短期大学 倉敷市立短期大学	○大庭 三枝 小久保 圭一郎 木戸 啓子
PA115	卒業間際の学生の気づき -子育てサロンでのパネルシアターの実践から-	園田学園女子大学 園田学園女子大学 園田学園女子大学	○中野 圭子 黒木 晶 田窪 玲子
PA116	表現の指導法における模擬保育の実践を通じた学生の気づきについて(2)	奈良学園大学	林 悠子
PA117	保育者の困り感の解決方略と連携・協働の関係性	修文大学短期大学部 愛知学泉大学 兵庫教育大学	○笹瀬 ひと美 永津 利衣 水落 洋志
PA118	保育所の午後の時間帯における人的環境について	たんぼぼ保育園	大野 伸治
PA119	初めての幼稚園教育実習における学生の自己評価	田園調布学園大学 田園調布学園大学	○新井 貴子 横尾 暁子
PA120	保育現場におけるICTの活用と効果	関東学院大学	福田 真奈
PA121	韓国の保育現場における伝承遊びの教育的効果	名古屋柳城女子大学 中部大学	○林 韓燮 蘇 珍伊
PA122	学生が考えている幼児期の表現活動について	常磐会学園大学 常磐会学園大学 常磐会学園大学	○加藤 達雄 丸井 理恵 笠川 武史
PA123	保育者の危機管理能力向上を目指すアクティブラーニング実践の検討 -対象理解の観点から-	武蔵野大学 慶應義塾大学 大阪成蹊短期大学	○田中 笑子 富崎 悦子 園田 和江

発表ID

PA124	子どもの遊びに関する調査 - 保育者へのインタビュー調査をとおして -	沖縄キリスト教短期大学 沖縄キリスト教短期大学	○糸洲 理子 照屋 建太
PA125	保育者による「リズムカルな語りかけ」に関する一考察	こども教育宝仙大学	葛西 健治
PA126	保育者養成課程における音楽実技指導の意義 - カリキュラム構成の観点から問い直す -	桜美林大学	木村 充子
PA127	4年制大学の保育者養成についての一考察	石巻専修大学 石巻専修大学 石巻専修大学	○高橋 有香里 高橋 功祐 小玉 幸助
PA128	保育職の社会的責任から導出する保育者養成課程への新たな示唆	福岡こども短期大学	後藤 紀子

ポスター発表 B. 保育実践研究、保育実践現場との共同研究など

発表ID

PB101	ICTを活用した保育実践演習の試み - 保育現場・保育者養成校・学生の情報の見える化を目指して -	小田原短期大学	谷口 征子
PB102	学生の主体的な学びを目指して (2) - 「子ども虐待とDV」授業を通して -	名古屋女子大学短期大学部	鈴木 美枝子
PB103	ハンガリーにおけるわらべうたを用いた保育実践 - ビオラ保育園での実践観察 -	京都光華女子大学	和田 幸子
PB104	幼児における身体組成の特徴についての一考察	石巻専修大学	高橋 功祐
PB105	幼児が語るくらしの言葉から表現活動へ - 5歳児のことばと詩 -	尚綱大学短期大学部	増淵 千保美
PB106	保育現場でのコミュニケーションロボット導入に関する研究 (2)	日本女子体育大学	百瀬 ユカリ

ポスター発表 C. 保育実習・教育実習、実習指導、対人援助職のキャリアデザインなど

発表ID

PC101	保育実習における対人行動特性を踏まえた指導プログラム開発	中部学院大学短期大学部	小木曾 友則
PC102	教育実習におけるドキュメンテーション的な記録の試み - イラストを用いた実習記録の編成内容 -	安田女子短期大学 安田女子短期大学	○橋本 信子 中村 涼
PC103	教育実習における自己評価と他者評価の比較 (2)	安田女子短期大学 安田女子短期大学	○中村 涼 橋本 信子
PC104	実習記録から学生の想いを知る② - 保育実習Ⅲより -	東大阪大学短期大学部	野崎 之暢
PC105	保育実習における評価の在り方 ~ 保育所と施設の現状と意識 ~	日本体育大学 東京家政大学	○佐藤 恵 小櫃 智子
PC106	幼稚園における教育実習指導内容と実習記録についての現状	香蘭女子短期大学 中村学園大学	○寺地 亜衣子 那須 信樹
PC107	保育士養成校の施設実習における学生の不安に関する調査研究	秋草学園短期大学	三好 力
PC108	保育実習における実習生と実習園の「ズレ」の検討 - 積極性に着目して -	湊川短期大学	佐藤 奈美
PC109	実習体験が就業意識に及ぼす影響 ~ 児童養護施設での実習生の語りを分析して ~	聖ヶ丘保育専門学校 聖ヶ丘保育専門学校	○蠣崎 尚美 亀田 良克
PC110	実習評価から見る実習指導方法の検討 - 評価および事後指導に着目して -	就実短期大学 就実短期大学	○三好 年江 荊木 まき子
PC111	実習指導 - 保育現場と養成校の協働による養成 -	大阪千代田短期大学	寄 ゆかり
PC112	幼児の遊びを中心とした映像教材の解説	和洋女子大学	大神 優子
PC113	実習園と養成校連携実践 - 実習生の学びの深まりとの関係 -	玉川大学 玉川大学	○上田 よう子 田甫 綾野

ポスター発表 D. 授業実践研究など

発表ID

PD101	保育現場における危険予測・回避能力育成のための ICT 教材の開発	広島大学	伊藤 優
PD102	模擬保育実践のリフレクションにおける保育者視点映像活用の検討	くらしき作陽大学	紺谷 遼太郎
PD103	保育者養成における“数と形”に関する授業内容と数学的な意義	茨城キリスト教大学 郡山女子大学短期大学部	○佐々木 隆宏 佐々木 郁子
PD104	「乳児保育」科目における危険予知トレーニングの実践と質的研究	石巻専修大学	小玉 幸助
PD105	運動遊びをテーマにした模擬保育の振り返りの検討	白梅学園短期大学	佐藤 文
PD106	保育士養成カリキュラムの系統性を意識した協同意識の育成の試み	常磐会学園大学 常磐会学園大学	○坂口 静子 岡(宮菌) 美佳
PD107	保育者養成校における言語表現の現状と課題 -コロナ禍後における「言語表現」のアンケートをもとに在り方を考える-	小田原短期大学通信教育サポートセンター大阪	西元 咲文
PD108	児童文化財を活用した卒業研究 -影絵シアターの制作・実践を通して-	修文大学短期大学部	吉澤 幸
PD109	保育実践動画を活用したリモート保育の試み	京都文教短期大学 京都文教短期大学	○松田 千都 渡邊 慶一
PD110	学生の創造的な音楽表現活動に関する研究 -リフレクションシートの分析-	鈴鹿大学短期大学部	南谷 悠子
PD111	保育者養成における園行事を生かしたカリキュラム・デザイン	聖和学園短期大学 聖和学園短期大学 聖和学園短期大学	○小森谷 一朗 岩淵 摂子 金野 麻衣
PD112	保育者養成教材としての『子どもの歌「ワークブック」』の特徴	東海学院大学 東海学園大学 東海学院大学短期大学部 東海学園大学(非) 愛知学泉大学 広島文化学園大学 川口短期大学	○小栗 祐子 横山 真理 内田 恵美子 鷹羽 綾子 永津 利衣 永井 美由紀 宮澤 多英子
PD113	令和5年度『トキガクフェスタ』の実践報告 ~舞台発表を通しての地域貢献~	常磐会学園大学 常磐会学園大学 常磐会学園大学	○笠川 武史 丸井 理恵 加藤 達雄
PD114	保育者を目指す学生の運動遊びの指導における心配について	名古屋柳城短期大学	菊池 理恵
PD115	保育者養成校における子どもの歌の研究(2) -学生の自主性を育てる-	愛知学泉短期大学 愛知学泉短期大学	○谷田 育代 本多 峰和
PD116	通信課程スクーリング「言語表現」科目における絵本に対する授業実践報告	東京教育専門学校	清家 弘子
PD117	理論と実践のつながり -理解の過程-	華頂短期大学	鈴木 えり子
PD118	保育職への意欲をつなぐオンライン保育体験授業の検討Ⅲ	東海学園大学	木本 有香
PD119	「乳児保育」の授業内容の検討 -手作りおもちゃの作成からの学び-	神戸教育短期大学 姫路大学	○川戸 良子 藤重 育子
PD120	保育者養成校におけるピアノ教育研究の近年の傾向と課題	常磐短期大学	鈴木 範之

ポスター発表 E. 子育て支援、地域連、高大連携など

発表ID

PE101	「乳児の遊び」について －フレール「遊具および子どもの遊び」に描かれた教育思想を基に－	関西国際大学	馬場 住子
PE102	コロナ禍における親子教室参加を通して －地域子育て支援センター来所者のアンケート調査から－	愛知淑徳大学(非)	鈴木 順子
PE103	保育者養成校における子育て支援の取り組み(1)	千葉明德短期大学	池谷 潤子
PE104	保育者養成を行う大学における子育て支援活動の取組について	梅花女子大学 梅花女子大学 梅花女子大学 梅花女子大学 梅花女子大学 梅花女子大学	○寺本 尚美 井元 真澄 鎮 朋子 藤井 奈津子 大西 隆弘 花房 ナオミ
PE105	感性を豊かにする親子アトリエ ー地域の父子活動を通してー	育英大学	渡辺 一洋
PE106	地域における医療的ケア児とその家族への支援に関する一考察	川崎医療福祉大学 川崎医療福祉大学	○笹川 拓也 藤澤 智子
PE107	東海地方における多文化共生保育(2) ー西尾市の事例を中心にー	育英大学	田中 卓也
PE108	韓国における少子化の進展と子育て支援	中部大学	蘇 珍伊

ポスター発表 F. 保育者研修、キャリアアップなど

発表ID

PF101	管理職が捉えるリーダーシップの在り方と保育ビジョンの発信 －往還型研修におけるアンケートの分析－	日本学術振興会特別研究員PD/東京大学 白梅学園大学大学院 東京大学	○松原 未季 平原 藍 野澤 祥子
PF102	園のリーダーが保育者養成における実習にもとめていること	中国短期大学 中国短期大学	○清水 憲志 福澤 惇也
PF103	若手保育士は公開保育を通して何を学び得ているのか －ポストコロナにおける地方自治体の若手保育士巡回支援事業の課題－	桜花学園大学	上村 晶
PF104	私立幼児教育・保育施設の組織風土と関連する要因の探索的検討		土生川 雄彦
PF105	保育者を対象としたハイブリッド型講習に関する検討	川崎医療福祉大学 川崎医療福祉大学 川崎医療福祉大学 川崎医療福祉大学 川崎医療福祉大学 川崎医療福祉大学 川崎医療福祉大学	○重松 孝治 中川 智之 森本 寛訓 岡正 寛子 松本 優作 種村 暁也 蓮井 和也 橋本 勇人
PF106	STEAM教育・自己評価ツールを活用した研修プログラムの構築をめざして(1) －保育者の食育実践力向上にむけたプログラム設計－	相愛大学	進藤 容子

諸 規 程

大会における座長および分科会運営に関する規程

(本規程の目的)

第1条 本規程は、日本保育者養成教育学会の大会における分科会の座長を選出する方法および分科会運営の仕方について定める。

(座長の選出と依頼)

第2条 各分科会には、適宜、若干名の座長をおく。

2 座長は、原則として本学会会員で、大学等における教授または准教授職相当の会員を当てる。

3 座長候補者は、大会実行委員会が選出し、日本保育者養成教育学会会長が文書をもって依頼する。

(ポスター発表分科会の運営)

第3条 座長および大会実行委員会はポスター発表分科会の運営に関わる次の業務を行う。

(1) 座長の業務

①座長は、発表者の発表の仕方に不適切な点がある場合は、適宜注意をし、ルールにかなった発表が行われるように努める。

②参加者からの質問が少ない場合には、座長は適宜発表者に質問するなどして、参加者同士の質疑応答が活発になるように配慮する。

③座長は、発表者および参加者に礼節を欠く言動や分科会の運営を妨げる言動が見られるときには適宜注意し、分科会が研究交流の場として相応しいものとなるように努める。

④座長は、発表が大会研究発表に関する諸規程にかなっているかを確認し、分科会終了後に研究発表認定審査会に報告する。

(2) 大会実行委員会の業務

①大会実行委員会は、発表者の出席を確認し、その結果を座長に報告する。

②大会実行委員会は、発表の仕方についてルール違反がないか監督し、結果を座長に報告する。

(口頭発表分科会の運営)

第4条 座長および大会実行委員会は口頭発表分科会の運営に関わる次の業務を行う。

(1) 座長の業務

①座長は、分科会開始前に、分科会の運営の仕方および発表の成立条件について発表者および参加者に説明する。

②座長はプログラムに従い、分科会の司会進行を行い、発表者に不平等が生じないように努める。

③発表者の欠席および発表の取り下げがある場合も、座長はプログラムに明記された時間通りに分科会を運営する。

- ④座長は、発表者の発表の仕方に不適切な点がある場合は、適宜注意をし、ルールにかなった発表が行われるように努める。
 - ⑤参加者からの質問が少ない場合には、座長は適宜質問をするなどして、議論が深まるように配慮する。
 - ⑥座長は、発表者および参加者に礼節を欠く言動や分科会の運営を妨げる言動が見られるときには適宜注意し、分科会が研究交流の場として相応しいものとなるように努める。
 - ⑦座長は、発表が大会研究発表に関する規程にかなっているかを確認し、分科会終了後に研究発表認定審査会に報告する。
- (2) 大会実行委員会の業務
- ①大会実行委員会は、発表者の出席を確認し、その結果を座長に報告する。
 - ②大会実行委員会は、発表時間を管理するなど、座長の司会進行をサポートする。

(改廃)

第5条 本規程の改廃は理事会が行う。

附 則 本規程は、平成30年12月1日から施行する。

日本保育者養成教育学会 第8回研究大会
広告・バナー掲載のご芳名

株式会社北大路書房	様
中央法規出版株式会社	様
株式会社萌文書林	様
教育情報出版	様
株式会社アイ・ケイコーポレーション	様
全国社会福祉協議会出版部	様
株式会社建帛社	様

学会を開催するにあたり、多大なご支援をいただきました。
心より感謝申し上げます。

2024年3月

日本保育者養成教育学会
会長 石川 昭義

北大路書房

〒603-8303 京都市北区紫野十二坊町12-8

☎ 075-431-0361 FAX 075-431-9393

<https://www.kitaohji.com> (価格税込)

主体としての子どもが育つ 保育内容「人間関係」

無藤隆監修 古賀松香編著 B5・200頁・定価2420円

「保育者が子どもの主体性を育む」のではなく、「子どもが主体として育つ」ことを支える保育実践のあり方とは？ 良質で豊富な事例を通して「主体としての子ども」の育ちに迫る。これからの時代を主体的に子どもとともに生きる保育者のための新テキスト。

子どもの権利と対話から学ぶ 保育内容総論

森 眞理, 猪田裕子編著 B5・192頁・定価2420円

子どもの権利を保障する保育内容とは？ この問いを軸に、多角的な視点から保育の面白さと奥深さを探究する。章の冒頭に設けた学習のポイントや章末の演習課題、ワークシートなど、学びを支える工夫が満載。重要資料に簡単にアクセスできるQRコード付き！

新 保育ライブラリ 保育内容 表現 [新版]

杉山貴洋, 花原幹夫編著 A5・164頁・定価2200円

シリーズ好評テキストの改訂版。子どもの表現を理解し、より豊かにはぐくむための姿勢・援助について、指針・要領の読み解き、発達や遊びとの関係、指導計画と記録・振り返り、保育者自身の表現力等、多様な視点から考える。豊富な事例や写真をまじえ、具体的なイメージを伴った実践的な学びを支える。

新 保育ライブラリ 保育内容 健康 [第3版]

花井忠征, 野中壽子編著 A5・208頁・定価1980円

遊び空間の減少、少子化、育児の孤立化、メディアとの付き合い方……子どもの健康や発達をめぐる課題が多様化する中、どのように子どもの豊かな心としなやかな身体を育て、社会化へ向け支援するか。領域「健康」について現代および将来を見すえた教育・保育を学び、考えるためのテキスト。

ニューロマイノリティ

—発達障害の子どもたちを内側から理解する—横道誠, 青山 誠編著 四六・312頁・定価2420円 当事者・支援者・研究者が一体となって「発達障害理解」に革命を起こす！ニューロマイノリティとして生きている子どもたち、「発達障害児」の体験世界を「内側から理解する」という視点から多様な著者が多角的に描き出す。

子どもの遊びを考える

—「いいこと思いついた！」から見えてくること— 佐伯 胖編著 四六・248頁・定価2640円 「遊び＝自発的な活動」というのは本当か？！「いいこと思いついた！」という現象を切り口に、「中動態」や「天然知能」などの概念を参照しながら、子どもの「遊び」の本質に迫る。

絵本で実践！ アニマシオン

—子どもの力を引き出す26のプログラム— 木村美幸著 A5・176頁・定価2420円 読書を通して、対話する力、自ら考える力、自分を表現する力など、子どもの様々な力を引き出す「アニマシオン」という読書指導法。本書では乳幼児期を対象に著者が数多くの現場で実践を積み重ねてきた「絵本」を用いたアニマシオンについて、わかりやすく具体的に解説する。

「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を目指して

奈須正裕, 伏木久始編著 A5・352頁・定価2640円 全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実とは。この問いに迫るため、当代きっての著者たちが現状想定される多様な回答を理論と実践の両側面から検討する。「一人一人の子供を主語にする学校教育」の実現に向けていま何ができるのか。その手がかりがここにある。

持続可能な社会をめざす0歳からの保育

井上美智子, 登美丘西こども園著 定価2420円

デジタル社会の子どもが育ちを支える 保育内容 健康

田口喜久恵編著 定価2640円

発達心理学15講

高橋一公, 中川佳子編著 定価2420円

北欧スウェーデン発 科学する心を育てるアウトドア活動事例集

C. ブレイジ著/西浦和樹編訳 定価2420円

社会情動的スキルを育む「保育内容 人間関係」

無藤 隆, 古賀松香編著 定価2530円

「気になる」子どもの社会性発達の理解と支援

本郷一夫編著 定価1980円

子どもの育ちをとらえるラーニング・ストーリー

穴戸良子, 三好伸子著 定価2420円

はじめて学ぶ保育原理 [新版]

古見昌弘, 斎藤 裕編著 定価2420円

行列のできる児童相談所

井上 景著 定価2530円

新刊図書

*テキスト採用の見本をご希望の場合は、弊社HPのお申込みフォーム、またはE-mail、FAXにてお申込みください。

乳幼児と人間関係

—確かな理解を広げ、深める—

浅井拓久也 編著
B5判 176頁 定価2,090円(税込)
978-4-89347-394-3

保育内容 人間関係

—子どもの人との関わりと保育実践を学ぶ—

敷中征代・近内愛子・玉瀬友美 編著
B5判 224頁 定価1,980円(税込)
978-4-89347-410-0

感じて楽しむ身体表現

—保育者のための15のアイデア—

佐藤みどり・上野奈初美 編著
A5判 128頁 定価2,090円(税込)
978-4-89347-416-2 ★丈夫で開きやすいPUR製本

近刊
小学校英語の練習帳

宮田学 編集 稲葉みどり 著
B5判(2色) 144頁 赤シート付
予価2,220円(税込) 978-4-89347-407-0

近刊
レゾ・インスピレーション

—驚きと発見、対話と思索の教育のために—

太田素子・小玉亮子・浅井幸子・小林美帆子・柳瑞希子 著
B5判 200頁+口絵8頁 予価2,860円(税込)
978-4-89347-428-5

改訂新版

保育者論

—主体性のある保育者を目指して—【第2版】

野津直樹・宮川萬寿美 編著
B5判 226頁 定価2,090円(税込)
978-4-89347-361-5

改訂 保育原理

—子どもの保育の基本理論の理解—

岡田耕一 編著 寺田博行・菊地一晴 著
B5判 196頁 定価2,090円(税込)
978-4-89347-423-0

新訂 子どもの教育の原理

—保育の明日をひらくために—

古橋和夫 編著
A5判 272頁 定価2,090円(税込)
978-4-89347-425-4

保育の計画と評価

—豊富な例で1からわかる(第3版)—

宮川萬寿美 編著
B5判 222頁 定価2,090円(税込)
978-4-89347-272-4

体験する・調べる・考える
領域「環境」(第3版)

田宮 縁 著
B5判 224頁 定価2,200円(税込)
978-4-89347-427-8

障害児保育ワークブック(第4版)

—インクルーシブ保育・教育をめざして—

星山麻木 編著
B5判 162頁+切り取り式サポートシート24頁
定価2,090円(税込) 978-4-89347-409-4

実践に生かす

障害児保育・特別支援教育(第2版)

前田泰弘 編著 立元 真・中井 靖・小笠原明子 著
B5判 226頁 定価2,200円(税込)
978-4-89347-421-6

図解で学ぶ保育 社会的養護Ⅰ(第2版)

原田旬哉・杉山宗尚 編著
A5判(2色) 184頁 定価2,200円(税込)
978-4-89347-411-7

図解で学ぶ保育 社会的養護Ⅱ(第2版)

杉山宗尚・原田旬哉 編著
B5判(2色) 136頁 定価2,200円(税込)
978-4-89347-412-4

児童の福祉を支える

社会的養護Ⅰ(第2版)

吉田真理 編著 坂本正路・高橋一弘・村田紋子 著
A5判 264頁 定価2,200円(税込)
978-4-89347-419-3

児童の福祉を支える

〈演習〉社会的養護Ⅱ(第2版)

吉田真理 編著 高橋一弘・村田紋子 著
A5判 264頁 定価2,200円(税込)
978-4-89347-420-9

施設実習ガイド(第3版)

—保育者として成長するための事前事後学習—

駒井美智子 編著 松本健二・小林保子 著
B5判(2色) 188頁 定価2,200円(税込)
978-4-89347-426-1

学びつづける保育者をめざす実習の本
(第4版)

久富陽子 編著 善本真弓・五十嵐裕子・堀 科 著
A4判 120頁 定価1,980円(税込)
978-4-89347-413-1

保育の学びスタートブック(第3版)

久富陽子 編著
B5判 128頁 定価1,100円(税込)
978-4-89347-414-8

保育者になる人のための実習ガイドブックA to Z

—実践できる! 保育所・施設・幼稚園・認定こども園実習テキスト(第2版)—

名須川知子 監修 田中卓也・松村 齋・
小島千恵子・岡野聡子・中澤幸子 編著
A4判 184頁 定価1,980円(税込) 978-4-89347-422-3

三訂 教職入門

—未来の教師に向けて—

古橋和夫 編著
A5判 256頁 定価2,090円(税込)
978-4-89347-424-7

保育方法の実践的理解(第3版)

久富陽子・梅田優子 著
B5判 208頁 定価2,220円(税込)
978-4-89347-415-5

子育て・子育てを支援する

子どもの食と栄養(第11版)

堤ちはる・土井正子 編著
B5判 314頁 定価2,640円(税込)
978-4-89347-154-3

- 日本の保育の歴史 — 子ども観と保育の歴史150年
汐見稔幸ほか著 定価2,860円(税込)
- 幼児教育史研究の新地平(上巻) — 近世・近代の子育てと幼児教育 —
幼児教育史学会 監修 太田素子・湯川嘉津美 編 定価3,740円(税込)
- 倉橋惣三「児童心理」講義録を読み解く 川上須賀子・横 英子ほか著 定価2,530円(税込)
- 保育の実践 — 愛し、任せ、信じ、見守る 本吉圓子・奥田美由紀 著 定価1,980円(税込)

好評既刊

カラー5領域

新訂
事例で学ぶ
保育内容

各巻 定価2,200円(税込)

- 〈領域〉健康 無藤 隆 監修/倉持清美 編者代表
- 〈領域〉人間関係 無藤 隆 監修/岩立京子 編者代表
- 〈領域〉環境 無藤 隆 監修/福元真由美 編者代表
- 〈領域〉言葉 無藤 隆 監修/宮里暁美 編者代表
- 〈領域〉表現 無藤 隆 監修/浜口順子 編者代表



新刊・関連図書のご案内

だれもが大切にされる
インクルーシブ保育 —共生社会に向けた保育の実践—

小山 望 編著

B5判/104頁 定価2,200円

○「ちがっている」すべての子どもを同じに保育するインクルーシブ保育。その理念と具体的な方法、課題、保育者自身の意識の問題等を第一線の研究者がわかりやすいことばで解説。

○先進的にインクルーシブ保育を実践する4つの園の実際を、多くの事例を交えて多角的に紹介。



レッスンスタディ
毎日の授業研究・保育研究 —幼児造形・図工・美術編—

大泉義一 編著

A5判/128頁 定価1,980円

○現場の教師に日々求められる『毎日の授業研究・保育研究(レッスンスタディ)』の取り組み。その意味と実践について考える一冊。「理論編」「実践編」の二部構成。実践編では、具体的な事例からそのノウハウを紹介する。

○日々の授業を「よりよく」しようと考えている教育現場の先生方、そして将来「よい授業・保育」をしたいと思っ
ぶ学生のみなさんに向けて。



☆2019年施行の新保育士養成課程に対応

コンパスシリーズ/大きな判型と豊富な図表・写真で深い学びへ

教育相談

住本克彦 編著
B5判/144頁 定価2,090円

教育原理

古賀一博・中坪史典・加藤 望 編著
B5判/144頁 定価2,090円

保育者論

上野恭裕・米谷光弘 編著
B5判/144頁 定価2,090円

保育の心理学

寺見陽子 編著
B5判/176頁 定価2,310円

3月刊

音楽表現

駒久美子・味府美香 編著
B5判/160頁 定価2,200円

乳児保育

咲間まり子 編著
B5判/144頁 定価2,090円

●このほか保育内容5領域など好評既刊多数(詳しくは当社webサイトにてご確認ください)。



シードブックシリーズ/1粒の種子からひらく保育の学び, シリーズ刷新!!

子どもの理解と援助

飯島典子・本郷一夫 編著
A5判/144頁 定価1,980円

子ども家庭支援論〔第2版〕

松村和子 編著
A5判/208頁 定価2,200円

改訂

子育て支援演習

太田光洋 編著
A5判/160頁 定価1,980円

子ども家庭支援の心理学

本郷一夫・神谷哲司 編著
A5判/160頁 定価1,980円

子どもの保健

及川郁子・草川 功 編著
A5判/168頁 定価2,090円

子どもの健康と安全

野原八千代 編著
A5判/184頁 定価2,200円

●このほか保育内容5領域など好評既刊多数(詳しくは当社webサイトにてご確認ください)。



演習保育内容シリーズ/保育士養成課程および幼稚園教諭養成モデルカリキュラムに対応

新訂 保育内容総論

金澤妙子・前田和代 編著
A5判/168頁 定価1,760円

「健康」—基礎的事項の理解と指導法—

河邊貴子・吉田伊津美 編著
A5判/168頁 定価1,760円

「人間関係」—基礎的事項の理解と指導法—

田代和美・榎本真実 編著
A5判/178頁 定価1,760円

「環境」—基礎的事項の理解と指導法—

岡 健 編著
A5判/176頁 定価1,760円

「言葉」—基礎的事項の理解と指導法—

戸田雅美 編著
A5判/176頁 定価1,760円

「表現」—基礎的事項の理解と指導法—

岡 健・金澤妙子 編著
A5判/176頁 定価1,760円

ICT×保育を考える 保育内容総論

島田由紀子・駒久美子・香曾我部琢 編著
B5判/136頁 定価2,090円

3月刊

子ども中心の實踐に学ぶ 保育内容総論

清水陽子・新井美保子・吉田真弓 編著
B5判/128頁 定価2,090円

特別の支援を必要とする子どもの理解

細瀬富夫・伊勢正明・大江啓賢 編著
A5判/192頁 定価2,200円

新刊

教育課程・保育計画総論

戸田雅美・西本 望 編著
A5判/192頁 定価2,090円

新刊

なぜからはじめる カリキュラム論

中原朋生・池田隆英・楠本恭之 編著
B5判/168頁 定価2,310円

3月刊

保育を学ぶ人のための 子どもの保健〔第2版〕

堀 浩樹・梶 美保 編著
B5判/144頁 定価2,090円

改訂



建帛社
KENPAKUSHA

〒112-0011 東京都文京区千石 4-2-15
TEL 03 (3944) 2611 FAX 03 (3946) 4377
https://www.kenpakusha.co.jp/

価格(税10%込)
予価・頁数は変更する
場合がございます。

事例で楽しく学ぶ 子ども家庭支援の 心理学

芝野松次郎=編集代表/新川泰弘、榎本祐子=編集
定価 2,200円(税込) B5判・198頁
2023年9月発行 ISBN978-4-8058-8843-8



保育士養成施設における「子ども家庭支援の心理学」のテキスト。各章の導入に身近な事例を用いており、学生が自分事として学ぶことができる。章ごとに予習・復習用のワークを用意し、教えやすさにも配慮。基礎をしっかりと押さえつつ、深く学ぶ楽しさを経験できる一冊。

保育内容「人間関係」と指導法

考える・調べる・学び合う

近喰晴子、小泉裕子=編集
定価 2,420円(税込) B5判・228頁
2023年9月発行 ISBN978-4-8058-8944-2



保育士養成および幼稚園教諭養成課程における「保育内容演習(人間関係)」「保育内容「人間関係」と指導法」のテキスト。事例・演習を豊富に収載し、学んだ知識をどう保育実践で活かすかがイメージできる。予習・復習など、学生の学びやすさにも配慮した構成。

「こどもかいぎ」の トリセツ

すぐできる!対話力を育む保育

豪田トモ=著/成川宏子=監修
定価 2,640円(税込) B5判・184頁
2023年11月発行 ISBN978-4-8058-8969-5



子どもが輪になって対話活動をする「こどもかいぎ」。明確な答えや結論は出さなくとも、「正解のない世界」で生きていくための対話力や、自分も他者も大切に作る人間性を育む絶好の場だ。映画『こどもかいぎ』の監督が「こどもかいぎ」実践のノウハウ、コツを集大成した一冊。

動画で学ぶ 保育における 子どもの遊び

「遊び込む」ための保育者の援助のポイント

高橋健介=著
定価 2,750円(税込) B5判・216頁
2024年1月発行 ISBN978-4-8058-8828-5



「自園の遊びをどのように評価し、改善すればよいのか」を、22の動画を使って解説した。年齢・場面ごとに、さまざまな遊びを動画で紹介し、保育者のかかわりを考える1冊。クラス全体を見る目を鍛えられ、サークル・タイムやオンライン公開保育の進め方などもわかる。



〒110-0016 東京都台東区台東 3-29-1
<https://www.chuohoki.co.jp/>

TEL.03-3834-5817
FAX.03-3837-8037

Facebookで最新情報を発信します!
中央法規出版 保育・教育分野



資質・能力を育む

保育内容 領域 人間関係

—子どもにとっての人間関係とは—

編著 齊藤 崇
ISBN 978-4-909378-51-4 B5判・168頁 カラー口絵付
定価 2,200円(本体2,000円+税)

新・保育内容「環境」

ラーニング・ストーリーで綴る学びの記録

編著 永渕泰一郎
ISBN 978-4-909378-53-8 A5判・192頁 第I・III部2色刷、第II部カラー
定価 2,200円(本体2,000円+税)

指導法もいっしょに学ぶ

保育内容「言葉」

編著 浅井拓久也
ISBN 978-4-909378-58-3 B5判・176頁 カラー口絵付
定価 2,000円(本体1,818円+税)

新・保育の計画と評価

—理論と実践をつなぐ保育カリキュラム論—

編著 前田和代
ISBN 978-4-909378-59-0 B5判・168頁 カラー口絵付・本文2色刷
定価 2,200円(本体2,000円+税)

実践事例を通して具体的なかかわりを学ぶ

保育現場における特別支援

編著 松井剛太・七木田敦
ISBN 978-4-909378-49-1 B5判・176頁 カラー口絵付・本文2色刷
定価 2,200円(本体2,000円+税)



哲学的な考えをいかす

新・保育原理

—保育の未来を考える—

編著 伊藤潔志
ISBN 978-4-909378-62-0 B5判・176頁 カラー口絵付・本文2色刷
定価 2,300円(本体2,090円+税)



〈子どもの遊びと児童文化をつなぐ〉

子どもの文化

理論と実践から学び、考えよう

編著 宮野 周
ISBN 978-4-909378-63-7 B5判・160頁 カラー口絵付
定価 2,200円(本体2,000円+税)



新しい時代の保育者論

編著 須藤麻紀
ISBN 978-4-909378-61-3 B5判・176頁 カラー口絵付
定価 2,200円(本体2,000円+税)

K 発行・販売
教育情報出版

〒557-0055 大阪市西成区千本南 1-18-24
TEL 06-6658-8741(代) 06-6651-5012(編集部)
FAX 06-6652-2928

info@kyoiku-joho.jp
<http://www.kyoiku-joho.jp>



子ども家庭支援論

庄司 妃佐／二宮 祐子 編著 B5 P130 定価2,640円

本書の特色は①保育現場の事例ならびに、②筆者らの実践経験を豊富に織り込んだこと、③家庭、地域、社会を取り込んだ事例を入れたこと、④ICT（情報通信技術）を家庭との連絡機能にしたことなどである。

改訂 子ども家庭支援の心理学

安藤 朗子／吉澤 一弥 編著 B5 P200 定価3,080円

本書の前半は生涯発達に関する心理学の基本的知識や発達課題、後半は社会状況における様々な課題や保護者に対する支援内容となっている。保育者を目指す学生はもちろん、保育や子どもの保護者に関わる現場で勤務する多くの方に活用頂きたい一書。



保育内容(言葉) 乳幼児の言葉が生まれ・育っていくために

並木真理子／桐川敦子 編著 B5 P150 定価3,080円

「保育所保育指針」、「幼稚園教員要領」の領域（言葉）をベースに、子どもの生き方や個性を形成する原動力となる乳児期からの言葉の発達を読み解いた。「理論編」とワークシート付きの「実践編」の二部構成となっている。

乳児保育Ⅰ・Ⅱ 豊かな乳児保育をめざして

久保田健一郎／土永葉子／韓 仁愛 編著 B5 P150 定価2,750円

本書は、「保育所保育指針」、「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」、また、保育士養成課程の乳児保育Ⅰ・Ⅱの教授内容に基づいて執筆し、前半を乳児保育Ⅰの「講義編」、後半を乳児保育Ⅱの「演習編」として編集した。



子どもの食と栄養 子どもの運動・遊び

小野 友紀／島本 和恵 編著 B5 P180 定価2,640円

野井 真吾 監修／石濱 加奈子 編 B5 P150 定価2,640円

子どもの姿から考える 保育の心理学 保育の現場で役立つ心理学

結城 孝治／遠藤 純子／請川 滋大 編著 B5 P232 定価2,640円

相良 順子／宮本 友弘 編著 B5 P88 定価1,430円

株式会社 アイ・ケイ コーポレーション

〒124-0025 東京都葛飾区西新小岩 4-37-16 メゾンドールI&K
Tel (03)5654-3722 (営業), 3723 (編集) Fax (03)5654-3720

E-mail: 87492web_info@ik-publishing.co.jp
http://www.ik-publishing.co.jp

振替口座 00290-5-6944

確かな知識・理解に基づく保育を培う！



最新 保育士養成講座 全10巻

「最新 保育士養成講座」総括編集委員会／編
●B5判 ●各巻定価2,090円(税込)
※第5巻は2,200円(税込)

- 第1巻 保育原理—保育原理/乳児保育
- 第2巻 教育原理
- 改 第3巻 子ども家庭福祉
- 改 第4巻 社会福祉
- 改 第5巻 社会的養護と障害児保育
- 第6巻 子どもの発達理解と援助
- 第7巻 子どもの健康と安全
- 第8巻 子どもの食と栄養
- 第9巻 保育専門職と保育実践—保育実習/保育内容の理解と実践
- 第10巻 子ども家庭支援—家庭支援と子育て支援

現場での
学びなおしにも
最適！



詳細はコチラ！

創刊70周年を迎えました

日々の保育実践に役立つ情報が満載の保育専門誌

保育の友

毎月8日発売 ●B5判・76頁 ●定価 740円(税込)



定期購読受付中！

定期購読は送料無料で！



詳細はコチラ！

特集 保育の最新テーマを掘り下げて
わかりやすく伝えます！

- 4月号 記録と計画
- 5月号 違いは魅力！
～働きがいのある職場であり続けるために～
- 6月号 「こども誰でも通園制度(仮称)」を考える

※特集テーマは、今後の編集過程により変更となる場合があります。

お申込みは、書店、都道府県・指定都市社会福祉協議会または下記へ

全社協出版部 受注センター
TEL. 049-257-1080 FAX. 049-257-3111
専用 E-mail: zenshakyo-s@shakyo.or.jp

全社協 社会福祉法人 全国社会福祉協議会 出版部
〒100-8980 東京都千代田区霞が関3-3-2 新霞が関ビル

福祉関係圖書の
検索・注文ができる
ホームページ

https://www.fukushinohon.gr.jp
福祉の本出版目録 検索
※クレジットカード決済にも対応

日本保育者養成教育学会 第8回研究大会

実行委員会

大会長：宮島 祐（東京家政大学）

委員長：保坂 遊（東京家政大学）

委員：小櫃 智子（東京家政大学）

委員：細井 香（東京家政大学）

委員：千葉 弘明（東京家政大学）

委員：小里 直通（東京家政大学）

委員：和田 明人（東京家政大学）

表紙・裏表紙デザインについて

保育5領域を5色の根幹になぞらえ、次世代に生きる子どもたちの豊かな成長を願って、花開く大樹をイメージしました。

様々な現状課題を抱える保育者養成教育ですが、近未来への視座へ希望を持って、皆様と共に臨んでいきたいとの想いをこめ、デザインさせて頂きました。

保坂 遊（東京家政大学）

大会運営事務局

名鉄観光サービス株式会社 仙台支店（担当：植松・志賀）

〒980-0021 宮城県仙台市青葉区中央4丁10-3 JMFビル仙台01 6階

TEL：022-227-3611 FAX：022-261-4623 Email：hoikusyayousei08@mwt.co.jp

【日本保育者養成教育学会について】



日本保育者養成教育学会は、一般社団法人全国保育士養成協議会における研究活動を前身とし、平成28年3月22日に発足しました。本学会の特徴は、研究者のみならず幼稚園、保育所、認定こども園その他さまざまな施設の保育者による協働によって保育者養成教育に関する研究活動を進めていく点にあります。学会員数は現在1,100人ほどおられます。

研究者と保育実践の場で活躍する保育者が、互いの特長を活かし「未来を支える保育者」養成について考え続けます。

(学会HP (URL : <http://www.h-yousei-edu.jp/>) もどうぞご覧ください。)

日本保育者養成教育学会第8回研究大会プログラム・抄録集

発行日：2024年3月

発行者：日本保育者養成教育学会

印刷：名鉄観光サービス株式会社 仙台支店



日本保育者養成教育学会
The Japanese Society for the Study on Hoikusha Education